

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	視環境設計小委員会	主 査 名：原 直也 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：明石 行生
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな LED・OLED 時代に適合した昼光設計、明視設計や、明るさ感に基づく視環境設計の要件、評価法や設計法の課題を体系的に整理し、新たな課題については WG を設置して組織的に整備することを目的とする。 ・2015 年度:各 WG の活動内容と方針を議論する。 ・2016 年度:3 - 4 年度に設置する新たな WG で取り組むべき活動方針を議論する。小委員会及び WG の活動状況を踏まえてシンポジウムを開催する。 ・2017 年度:各 WG の活動内容と方針を議論する。 ・2018 年度:4 年間の活動を取り纏めたシンポジウムを開催する。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 (3名) 主査：原 直也 (関西大学) 幹事：神農悠聖 (大手前大学) 委員：明石行生 (福井大学), 秋月有紀 (富山大学), 井上容子 (奈良女子大学), 岩田三千子 (摂南大学), 上谷芳昭 (京都大学) 大井尚行 (九州大学), 奥田紫乃 (同志社女子大学), 加藤未佳 (金沢工業大学), 鈴木広隆 (神戸大学), 中村芳樹 (東京工業大学), 細淵勇人 (秋田県立大学), 槇 究 (実践女子大学) 吉澤望 (東京理科大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・昼光設計 WG：省エネルギーや健康性の観点から重要となる昼光設計のためのシミュレーション技術の開発とその普及を目的としている。 ・明視設計 WG：明視のための設計手法の確立を目指し、主に不均一輝度視野での明視設計手法について検討する。 ・薄明視 WG：眼球の光学特性に基づく高精度な網膜像の予測モデルの構築、網膜像・網膜上の視細胞の分布・受容野のメカニズムに基づく周辺視野の順応の予測モデルの構築を行い、それらをベースとして全視野の薄明視モデルを開発する。 ・輝度・色度設計 WG：輝度・色度を用いて屋内外の視環境設計を行う可能性を検討し、可能であればツールを開発する。 ・明るさ感 WG：近年、重要性が認識され様々な照明設計の場で使用され始めた明るさ・明るさ感指標の妥当性を学術的な場において検証する。 	
2015 年度予算	94,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. それぞれの WG 活動が活発に行われた。 2. WG 活動の成果として行うシンポジウムの内容について方針を決定した。
委員会活動の問題点・課題	1. 特になし